

学年文化祭を終えて・・・

私は文化祭と聞いたとき、初めの方は全然がんばろうとは思いませんでした。歌うだけに練習時間をとるのも、本気で努力するのも、全部がめんどろで、はやく終わらないかなと思っていました。練習が始まって1回目、全く声が合わないし、声量もないし、自分では、もう金賞は無理だし、どうせ銀賞も、そもそも賞をとることができないと思っていました。でも、練習をしていくうちにふざけている人に注意をしたり、アドバイスをしたり、練習するための用意をしてくれる文化委員や伴奏者や指揮者が本気でがんばっていることに気がつきました。学年文化祭本番では他のクラスが5組よりも頑張っているのが分かりました。私が1番頑張っていると思ったクラスは3組です。ほとんどソプラノ、アルトなどパートごとにバラバラに歌っているのに、声が大きくてみんなが声を出していました。このクラスの歌を聴いて、もっと初めからがんばっていたらよかったなと思いました。これで1年生の学年文化祭は終わったけれど、2年、3年ではもっとがんばれるようにしたいです。



< 5組 >

中学生になって初めての学年文化祭で、協力とか、団結とか言っていたけど、学級練習の時には私語も多かったし、ちゃんとしていない人が多かったと思います。こんなままで良い歌はできないだろうなと正直不安でしたが、真剣に取り組む人が少し増えたかなとたまに思うようになりました。ピアノの人も、指揮の人も、ちゃんとしてくれていて本番もまあそれなりの合唱ができたかなと思います。でも結果が金賞じゃなく、銀賞だったのは、先生方のおっしゃっていたとおり、「みんなで取り組む」という気持ちが足りなかったからそういう結果になったんだと思います。



終わった後の最後の最後で私語をしている人がいたり、怒られたりしたのは正直嫌になりました。そういう所までもちゃんとしっかりできているクラスが金賞をとるという結果につながっているんじゃないかと思います。

終わった後の最後の最後で私語をしている人がいたり、怒られたりしたのは正直嫌になりました。そういう所までもちゃんとしっかりできているクラスが金賞をとるという結果につながっているんじゃないかと思います。

全校文化祭では私たちは学年合唱の練習の成果を出して頑張らないといけないし、吹奏楽部の演奏も他学年・他クラスの応援もしっかりしようと思いました。

< 5組 >



学年文化祭を終えて、初めはふざけている人や、にやけている人、やる気の無い人がいて、パートリーダーも大変やったと思います。けれど、練習していくうちにその歌詞の意味を込めて歌ったり、友だちのことを思ったりしていくうちに、だんだん上手くなっていった、口角や強弱も意識できるようになって、本番では、練習してきたことがすべて発揮出来たと思います。このクラスで「大切なもの」を歌うのは全校文化祭で最後だと思います。学年文化祭より、人も多し、先輩方も見て、緊張すると思いますが、1学年の人たちの思いも一緒にこめて「大切なもの」を歌いたいと思います。

今回の学年文化祭を終えて、成長したことがいっぱいあると思います。例えば「心をつなげる」や「一生懸命にする」などが成長したと思います。このことをいつまでも続けたいと文化祭で絆が深まった意味がなくなると思います。次の行事とかにもしっかり生かせるようにがんばりたいです。全校文化祭で悔いのないように歌いたいです。

< 4組 >

今日の文化祭で、この4組のメンバーで金賞がとれたことがとてもうれしいです。最初はソプラノだけでも音程がとれていなかったりして、怒られていたけど、パートリーダー中心にがんばれたと思います。「大切なもの」では、サビのところが高くて、出てる人出ていない人、それぞれで、きっとパートリーダーも大変だったと思います。でも、何回も何回もCDを流して、パートリーダーがお手本を聞かしてくれたりして、強弱ができていたと思います。「ひまわりの約束」では最初の高い声など、ソプラノはきれいな声を出すのに必死で、学級練習で何度も何度も歌いました。1-4で全員で合わせたときはピアノと速さが合わなかったり、声がそろわなかったり、大変でした。家で練習をしてくる人も多くなって、そろそろようになり、とてもきれいな歌になりました。パートリーダーが「もう少し口角上げて」とか「笑って」とかいろいろ声をかけてくれました。このきれいに響くような歌になったのは、たくさんのリーダーのおかげだと思います。毎日のように頑張ってくれた文化委員、パートリーダーにとっても感謝しています。この4組で歌う合唱は残り少ないけど、これからもこの4組のみんなと音楽の授業とかもがんばります。



< 4組 >